

## 第 1 節 営繕業務

### 1 営繕業務

営繕業務には、知事部局及び教育庁の依頼に基づき実施する県有建築物の新築・増改築と、県が保有する474施設、延べ床面積約2,083千㎡のうち、338施設、延べ床面積約1,593千㎡について行う維持修繕等があります。(数値は、いずれも平成25年度末現在。)

これらの工事に関する調査・設計・工事監督等を通じ、営繕課と各地域振興局建設部が連携をとりながら、安全で安心して利用できる県民共有の財産の整備を図っております。

### 2 重点的な取組

営繕工事の技術管理業務を通じて、県民共有の財産である県有建築物が、多くの県民に親しまれ活用されるよう、次のような基本事項を踏まえた取組を実践しております。

- ① 県民に親しまれる建築物
  - ・街並みや周辺環境と調和した建築計画
- ② 利用者にやさしい建築物
  - ・地域の気候風土を踏まえ、敷地と建築物の各機能に応じた適切なバリアフリーを推進
- ③ 環境にやさしい建築物
  - ・県有建築物の環境負荷の低減化
  - ・自然エネルギー(地中熱、雪冷房、太陽熱等)、雨水、地下水の利用。再生資材の活用
- ④ 県産材を活用した建築物
  - ・秋田杉に代表される県産木材を活用し、公共建築物の木造化、木質化を推進
- ⑤ 安全で安心して使える建築物
  - ・構造上、防災上の安全性の他に、使用材料の安全性の確認
- ⑥ 広報・広聴の充実
  - ・美の国あきたネットを活用した発信情報の充実
- ⑦ 公共建築物の環境マネジメント
  - ・環境負荷低減計算ソフトを利用した修繕計画の作成

#### [ 県産材活用の事例 ]



大曲工業高等学校 体育館内観



能代松陽高等学校 生徒昇降口・資料展示スペース内観



能代松陽高等学校 教室棟外観

能代松陽高校の教室棟2階部分は木構造となっています。また、教室棟以外の非木造の棟も含めて、内装の木質化に積極的に取り組んでいます。

## 第2節 営繕関係事業

### 1 平成26年度営繕工事の概要

平成26年度に営繕課が知事部局及び教育庁から事務の依頼を受けて実施する予定の受託事業は、延べ104件、年度総工事費約9,874百万円の見込みです。  
これは、前年度(事務依頼ベース)に比べて件数で約83%、年度工事費で約179%になります。

(平成26年4月現在)

| 機 関 名 | 平成26年度当初 |           | 平成25年度当初 |           | 対前年度比較 |        |
|-------|----------|-----------|----------|-----------|--------|--------|
|       | 件数(件)    | 工事費(千円)   | 件数(件)    | 工事費(千円)   | 件数(%)  | 工事費(%) |
| 知事部局  | 65       | 1,253,835 | 81       | 985,694   | 80%    | 127%   |
| 教 育 庁 | 39       | 8,620,162 | 44       | 4,524,145 | 89%    | 191%   |
| 総 計   | 104      | 9,873,997 | 125      | 5,509,839 | 83%    | 179%   |

※ 修繕工事等を含む

### 2 平成26年度主要工事の概要

平成26年度に工事継続中又は工事発注予定の主な事業は次のとおりです。(平成26年4月現在)

|                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○能代松陽高校建設事業 [能代市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造規模：RC造4/0, RC造+木造2/0 他</li> <li>・延床面積：約14,900㎡</li> <li>・工 期：H23～H27</li> </ul>   | <p>○秋田中央高校改築事業 [秋田市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造規模：RC造3/0 他</li> <li>・延床面積：約14,200㎡</li> <li>・工 期：H25～H27</li> </ul>                           |
| <p>○秋田工業高校改築事業 [秋田市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造規模：RC造4/0 他</li> <li>・延床面積：約25,000㎡(うち改修10,700㎡)</li> <li>・工 期：H25～H28</li> </ul> | <p>○角館地区統合高校(仮称)等整備事業 [仙北市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造規模：S造4/0, 木造2/0 他</li> <li>・延床面積：約17,400㎡(うち改修13,200㎡)</li> <li>・工 期：H25～H28</li> </ul> |
| <p>○大館地区統合高校(仮称)整備事業 [大館市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造規模：RC造4/0 他</li> <li>・延床面積：約17,200㎡</li> <li>・工 期：H25～H28</li> </ul>        | <p>○大曲農業高校整備事業 [大仙市]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造規模：RC造3/0 他</li> <li>・延床面積：約13,400㎡</li> <li>・工 期：H26～H28</li> </ul>                           |

### 3 事業紹介

#### 【完成施設】

#### 男鹿水族館 ヒレアシ's館 (アシカ・アザラシ棟)

[建築場所] 男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢 [竣 工] 平成24年12月

[計画概要] 鉄筋コンクリート造 2階建 / 延床面積 約550㎡(増築部分)

#### [施設の特徴]

既設の男鹿水族館GAOの魅力アップを図るために、生物のふれあいを主眼としたアシカ・アザラシ棟の増築や、既存本館のハタタコーナーの再整備など、より充実した展示環境の創造を目指しています。

観覧スタンドを併設したアシカステージには、膜材の屋根を架け、全天候型の快適で開放的な空間としています。また、アシカ水槽やアザラシ水槽は、周回しながら様々な角度から観察できるような動線計画としたほか、生物とのふれあいが可能なスペースを設けています。



1階アザラシ水槽観覧スペース



男鹿水族館 外観(手前の低層部が増築部分)



2階アシカ観覧スタンド全景

## 【事業継続中施設】

### (1) 秋田工業高校改築事業

- [建築場所] 秋田市保戸野金砂町(現学校敷地内)  
[竣工予定] 平成28年度  
[計画概要] 鉄筋コンクリート造 4階建  
鉄筋コンクリート造+鉄骨造 4階建 他  
延べ床面積計 約 25,000㎡  
(うち改修部分 10,700㎡)

#### [施設の特徴]

本事業では、次世代のものづくりの基盤を支える人材育成の場として「学校の伝統を引き継ぐ学校」、「地域との関わり学習に活かす、開かれた学校」「弾力的に展開できる、柔軟な学習環境」を基本コンセプトに計画して、実習棟を除き全面的な建て替えを行います。

建て替えにあたっては、正門から現校舎まで直線的に伸びる軸線を残して、その延長線上を中心に、県産材を活用した体育館棟、武道場、校舎棟、セミナーハウスなどを逐次建築していきます。体育館棟は、大空間を有するアリーナとし、体育競技に限らず多目的に利用できるようにしています。また、大規模な改修となる実習棟は、建物自体が学習教材として活用できるように見える化をし、ものづくり教育の充実を図ります。



### (2) 大館地区統合高校(仮称)整備事業

- [建築場所] 大館市片山町(旧大館商業高校敷地内)  
[竣工予定] 平成28年度(平成28年4月開校)  
[計画概要] 鉄筋コンクリート造 4階建  
木造 2階建ほか  
延床面積計 約 17,200㎡

#### [施設の特徴]

旧大館商業高校の敷地に大館桂高校と大館高校及び大館工業高校が発展的に統合し、三校のこれまでの教育実践を踏まえつつ、「ゆとりと活力に満ちた創造性豊かな人材の育成と、地域社会に根ざした文化の拠点に相応しい施設づくりをめざす」を基本コンセプトに計画されました。

校舎は、国道への飛球や、周辺住宅への飛砂防止のため、旧野球場に新校舎を建設し、旧校舎跡地に野球場を整備します。平面計画として、校舎を口の字型にし生徒や教職員の機能的な動線を確保するとともに、教室棟を国道7号線から離れた北側に配置し、国道通行車両による騒音等に配慮しています。また、専門学科の特徴的な成果物等の展示が行えるよう、昇降口スペースに産業サロンを設置します。



### (3) 大曲農業高等学校改築事業

- [建築場所] 大仙市大曲金谷町(現学校敷地内)  
[竣工予定] 平成28年度  
[計画概要] 鉄筋コンクリート造 3階建  
鉄骨造 平屋建ほか  
延床面積計 約 13,400㎡

#### [施設の特徴]

本事業では、農業教育の充実改善の基本方針として『新生大農プラン』を立て、「創造性と高い農業経営能力を持つ人間の育成」、「環境保全に貢献できる人間の育成」、「地域の活性化を担う人間の育成」、「グローバル化に貢献できる人間の育成」をコンセプトに、一部の施設を除き、全面的な建て替えを行います。

新設する校舎棟及び体育館棟は、残存する実習棟及び体育館棟との動線に配慮するとともに、校地内に分散している既存の実習室等を新校舎棟内に集約することで、施設全体がまとまりのある、合理的な配置計画としています。また、敷地の北側には防災や地域活動などを目的とした公園広場を設け、広場内には販売実習やイベントに利用可能な、アグリマーケティングハウスを建設します。

